

# 農林水産部試験研究課題にかかる令和元年度外部評価委員会の結果について

令和元年9月13日  
とっとり農業戦略課

外部の有識者の方々による幅広い視点をもとに試験研究課題の選定、試験研究の効率的な実施及び広範囲に普及可能な技術の確立を図ること等を目的として、試験研究課題の外部評価を行いました。

## 1 外部評価委員会

- (1) 実施日 8月9日(金)、8月26日(月)
- (2) 評価者 学識経験者(鳥取大学、公立鳥取環境大学)、流通・経済界(市場関係者)、生産者(農業・林業・水産業関係者)、消費者 計11名

## 2 評価結果(別紙参照)

- (1) 評価対象
  - ア) 来年度から取り組もうとする研究課題(事前評価対象 6課題)
  - イ) 4年以上の試験研究課題のうち研究期間が中間に達した研究課題(中間評価対象 7課題)
- (2) 評価結果の概要
  - ア) 事前評価課題 6課題全て、研究を実施する。
  - イ) 中間評価課題 6課題は、研究を継続する。1課題は、研究課題を見直して継続する
- (3) 研究内容・方法の見直し等に関する委員の主な意見

試験場	研究課題名	委員意見
農試(事前)	「星空舞」のブランド化を支える研究	ブランド米として全国に高評価を得られる事を期待している。
園試(中間)	産地ニーズに応える特色ある鳥取型ブドウ栽培技術の確立	農家の負担軽減に繋がり、収益が上がる研究と思う。今後も長期的な取り組みが必要である。
中小家畜(事前)	ゲノム育種価を活用した大山ルビーの育種改良	生産農家が少なくても将来を見すえて、県が試験に取り組むことは重要である。
中小家畜(中間)	コンパクトで低コストな脱臭装置の開発	養鶏業者にとって、必要な技術開発であり、臭気除去後に発生する汚水処理方法も検討する必要がある。
林試(事前)	原木シイタケにおけるシイタケオオヒロゾコガ類の虫害防除技術の研究	未知の部分が多く、研究課題としては非常に面白いテーマ、鳥取県としての研究成果の効果を期待している。
林試(中間)	早生広葉樹等の育苗及び植栽技術に係る実証試験	生産者の方が大きな期待を寄せている研究。とても大切なことであり、期待している。
栽漁セ(事前)	ナマコ増養殖試験	資源の増殖のためには、漁業者による活動が必要、研究段階からの連携をお願いしたい。
栽漁セ(中間)	資源回復技術開発試験	現場に還元できる研究成果であり、より具体性のあるマニュアル作成を期待している。

## 3 今後の取組

- 委員からの意見はかなり高度で専門性の高いものもあるが、試験研究課題への反映を検討し、効果的な研究になるよう努める。
- 今回の結果はホームページ等でも公開し、広く一般県民の皆様には試験研究課題への理解を図る。

8月9日、26日農林水産部試験研究機関の試験研究課題外部評価委員会 評価結果

試験場	区分	試験研究課題名	試験期間	合計点	総合評価
1	農業試験場	事前 「星空舞」のブランド化を支える研究	R 2 ~ R 4	13.6	◎
2	園芸試験場	中間 産地ニーズに応える特色ある鳥取型ブドウ栽培技術の確立	H 2 9 ~ R 3	13.0	◎
3	中小家畜試験場	事前 ゲノム育種価を活用した大山ルビーの育種改良	R 2 ~ R 6	12.9	◎
4		事前 大山ルビーの新たな旨み成分に関する研究	R 2 ~ R 4	13.0	◎
5		中間 コンパクトで低コストな脱臭装置の開発	H 2 8 ~ R 2	11.8	○
6		中間 鳥取地どりピヨの遺伝資源保存技術の確立	H 2 9 ~ R 3	12.6	◎
7	林業試験場	事前 原木シイタケにおけるシイタケオオヒロゾコガ類の虫害防除技術の研究	R 2 ~ R 4	13.0	◎
8		事前 チップ原木の水分管理と価格設定に役立つ簡易な含水率判定手法の確立	R 2 ~ R 4	13.2	◎
9		中間 早生広葉樹等の育苗及び植栽技術に係る実証試験	H 2 9 ~ R 3	13.0	◎
10	栽培漁業センター	事前 ナマコ増養殖試験	R 2 ~ R 4	12.4	◎
11		中間 東郷池ヤマトシジミ資源回復試験	H 2 6 ~ R 5	12.3	◎
12		中間 アユ資源緊急回復試験	H 2 9 ~ R 4	12.6	◎
13		中間 資源回復技術開発試験	H 2 9 ~ R 3	13.1	◎

平均値	事前評価	中間評価
◎: 12点以上	研究を実施する。	研究を継続する。
○: 9点以上12点未満	研究内容、方法を見直して実施する。	研究内容、方法を見直して継続する。
×: 9点未満	実施を見合わせる。	研究を中止する。

	評価項目
事前評価	研究ニーズ・緊急性 研究計画・目標の整合性 生産者・消費者への波及効果
中間評価	必要性・社会情勢の変化 進捗状況及び達成見込み 生産者・消費者への波及効果